

アーカスプロジェクト2016いばらき | アーティスト・イン・レジデンスプログラム

# 茨城県北は芸術祭。 茨城県南にはレジデンス。 オープNSTAジオ開催！

2016年11月11日 [金] - 27日 [日] | 13:00 -19:00

会場：アーカススタジオ | 入場無料



23年目のアーカスプロジェクトの「オープNSTAジオ」。

オープNSTAジオとは、アーティストの制作現場を公開することです。ここ、守谷、日本でアーティストたちが発見した出来事を題材にした制作は、この町の新たな見方を私たちに教えてくれることでしょうか。オープNSTAジオは展覧会ではありません。アーティストが試行錯誤した過程を丸ごと見学することができる、より身近な芸術体験です。

ぜひこの機会にご取材賜りたく、貴誌ならびに貴社情報媒体などに掲載紹介をしていただきたくお願い申し上げます。

## 『県北は芸術祭。県南にはレジデンスプログラム！』

今年は茨城県の県北地域6市町にて国際芸術祭が開催されています。その開催主旨にあるように、茨城県はアーティストを支援する先進的な取り組みを90年代初頭からおこなってきたという事実を、今回の芸術祭で知った方もいるでしょう。今年も県南地域ではアーカスプロジェクトが、アーティスト・イン・レジデンスプログラムを実施しています。今年656件の応募者の中から選ばれたエルネスト・パウティスタ(エルサルバドル)、ガン・シオン・キン(マレーシア)、イェン・ノー(韓国)の3人の招聘若手アーティストが110日間、守谷市に滞在し、芸術活動をしています。

### 概要

#### OPEN STUDIOS | オープンスタジオ

会期：2016年11月11日[金] - 27日[日] | 13:00-19:00

(金・土・日曜日、23日祝日開催 | 左記を除く平日は予約制・月曜日休館)

会場：アーカススタジオ (もりや学びの里内) | 入場無料

招聘アーティスト：エルネスト・パウティスタ、ガン・シオン・キン、イェン・ノー

### 関連プログラム

#### ■キッズツアー | 11月12日(土)・19日(土) | 14:00-15:00

中学生以下対象のスタジオ鑑賞ツアー。対象/小・中学生 各日定員15名 ※要予約/予約方法は下部を参照

#### ■アーティストトーク×服部浩之 | 11月13日(日) | 15:00-18:00

3人のレジデントアーティストが、服部浩之氏と共に各々の活動についてスタジオで対談します。

※逐次通訳あり | 通訳：池田哲

#### ■アーティストによるガイドツアー | 11月23日(水・祝日) | 14:00-15:30

レジデントアーティストが自身の活動を紹介します。 ※逐次通訳あり | 通訳：池田哲

#### ■オープンディスカッション | 11月23日(水・祝日) | 17:00-19:00

「Institution / Independent : その複合性と対立性」

近年、芸術祭が異常な勢いで増加し、地域とアートの関係がさまざまな場所で議論されています。地域におけるアートはなにを基盤とし、どのように継続していくべきでしょうか。金沢21世紀美術館のキュレーターであり、レジデンス事業「CAAK」などを運営する鷺田めろ氏と、大阪でのプロジェクト「クロニクル、クロニクル！」を通じて独自の視点で地域の歴史を掘り起こし美術史の諸問題と接続する、インディペンデントな実践を試みる長谷川新氏を招き、インスティテューションの存在意義とインディペンデントなあり方、その関係の複合性と対立性を孕む意味や価値について模索します。

#### ■クロージングパーティー | 11月27日(日) | 18:00-19:00

#### ■スタジオツアー | 会期中 ※火・水・木曜日 | 14:00-18:00 (約1時間)

コーディネーターによるガイドつきスタジオ鑑賞ツアー。 ※要予約/予約方法は下部を参照

※その他にも、現代美術を体感できる多様なイベントを用意しています。タイムテーブル、内容については追加・変更の可能性があります。最新情報は公式HP (www.arcus-project.com) でご確認ください。  
アート作品だけではない芸術の楽しみ方を、ぜひ茨城県南で。

### キッズツアー・スタジオツアーお申込み方法

予約方法：キッズツアーまたはスタジオツアーいずれかへの参加希望を明記のうえ、参加希望日、氏名、年齢(キッズのみ)、連絡先(電話番号・Eメールアドレス)、参加人数をアーカススタジオまで、E-mail (arcus@arcus-project.com) またはお電話 (0297-46-2600) にてご連絡ください。

※キッズツアーは定員に達し次第、予約受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。



オープスタジオでのキッズツアーの様子

## 2016 年度招聘アーティスト



### エルネスト・バウティスタ / Ernesto Bautista

1987年エルサルバドル、サンタ・アナ生まれ、サンサルバドル在住。主な展覧会に「LITTLE STORY OF DEMOCRATIZATION OF FEAR」(ホンジュラス人類博物館,テグシガルバ, ホンジュラス, 2015)、「BIENNIAL OF THE FRONTIERS」(タマウリパス現代美術館,タマウリパス,メキシコ, 2014) などがある。血や銃弾、炎、人骨、刃物など、死や暴力を直接想起させるものを素材とし、社会や政治の諸問題を主題に、彫刻やインスタレーション、映像作品を制作している。



### ガン・シオン・キン / Gan Siong King

1975年マレーシア、ジョホール生まれ、クアラルンプール在住。1996年マレーシア芸術学院油画専攻修了。主な展覧会に「The Horror The Horror」(Art Printing Works Warehouse, クアラルンプール,マレーシア, 2016)、「Looking Ahead」(フェルガナアートスペース,ペナン,マレーシア, 2015) がある。作品において「遊び」の感覚を大切に、笑いやユーモア、喜びを探求する。しかし、その作品は感覚的というより、むしろコンセプチュアルで絵画の根源的構造などを探求するものだ。



### イェン・ノー / Yen Noh

1983年韓国、テグ生まれ、オーストリア、ウィーン在住。2016年ウィーン応用美術大学にてトランスアーツ修士課程修了。主な活動として「Aveugle Voix」(ダス・ヴァイセ・ハウス, ウィーン, オーストリア, 2016)、「To bite the tongue. Swallow. Deep. Deeper」(21世紀館,ウィーン,オーストリア, 2016) などがある。韓国人として欧州に暮らすノーは、言語や翻訳を主題に、同一空間において互いに関連するインスタレーションとスピーチ・パフォーマンスを発表する。西欧世界で編まれるテキストがアジアなど非西欧圏へと輸入される際に、翻訳・通訳を通じて、ときに誤読や誤解なども生じるなかで、如何に解釈され、近代化にどのような影響を与えたかを考察している。

## ゲストキュレーター2016



### 服部 浩之 (インディペンデント・キュレーター) Hiroyuki Hattori

1978年愛知県生まれ。アジア各地を中心にインディペンデント・キュレーターとして活動中。2006年早稲田大学大学院修了(建築学)。2009年から2016年まで青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]学芸員。「オルタナティブなあり方」を意識の根底に据え、山口、ハノイ、青森でアートスペースを展開するなど、建築的思考をベースに場をつくり日常生活と公共空間の創造的な関係を探求している。近年の企画に、十和田奥入瀬芸術祭「SURVIVE~この惑星の、時間旅行へ」(十和田市現代美術館, 奥入瀬地域, 2013年)、「Media / Art Kitchen ~Reality Distortion Field」(インドネシア国立美術館, MAP KL, アヤラ美術館, バンコク芸術文化センター[BACC], 国際芸術センター青森[ACAC]ほか, 主催: 国際交流基金ほか, 2013年~2014年)がある。あいちトリエンナーレ2016キュレーター。

※アーカスプロジェクトでは、2012年度より招聘アーティストの活動を専門的な観点から支援するため、外部キュレーターをゲストキュレーターとしてお招きしています。今年度の招聘アーティスト選考では、ゲストキュレーターの服部浩之氏と、アーカスプロジェクト発足時からのアドヴァイザーであり、森美術館館長、そして茨城県北芸術祭総合ディレクターの南條史生氏による最終選考により上記3名が選ばれました。

## 【オープンディスカッション ゲストスピーカー】



### 鷺田 めるろ (わしだ めるろ) : キュレーター／金沢21世紀美術館

1973年、京都市生まれ。2007年、非営利団体 Center for Art & Architecture, Kanazawa (CAAK) を設立、現在ボードメンバー。CAAKと別の非営利団体、金沢アートポート (Kapo) との共同プログラムとして2009年よりクリエイター・イン・レジデンスを実施。26名のアーティストを受け入れた。2017年、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館キュレーター。



### 長谷川 新 (はせがわ あらた) : インディペンデント・キュレーター

1988年生まれ。京都大学総合人間学部卒業。大阪、東京、金沢にて開催された「北加賀屋クロッシング 2013 MOBILIS IN MOBILI 一交錯する現在」展においてチーフキュレーターを務める(2013-2014)。同展は2014年カタログを出版。主な企画に「無人島にてー「80年代」の彫刻/立体/インスタレーション」(2014)、「パレ・ド・キョート/現実のたてる音」(2015)、「クロニクル、クロニクル！」(2016)など。

## アーカスプロジェクトのアーティスト・イン・レジデンスプログラムについて

アーティスト・イン・レジデンスとは、『芸術家の移動を促進する仕組み』です。支援する芸術家が移動しその土地の文化を吸収し表現する一方で、その土地の人では気づけない、新たな地域の特色が見えてくることを生かした芸術文化事業です。1994年（プレ事業を含む）から若手アーティストの支援を目的にアーティスト・イン・レジデンスプログラムを運営し、今年度で23年目となりました。これまで31カ国・地域から97名のアーティストを招聘し、今年度は3名の招聘枠（公募）に対して、89ヶ国・地域から656件の応募がありました。

アーカスはラテン語で『門』を意味し、実際に現代美術分野における若手アーティストの登竜門として国際的に認知されています。多くのアーティストがアーカスプロジェクトをきっかけに国際展へ出展する（現在開催中の「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」では11名、「岡山芸術交流」(岡山県)では4名の過去招聘作家が出展。)ほか、滞在中に制作した作品が海外の美術館に収蔵されるなどのキャリアを積んでいます。

## アーカスプロジェクト 2016 いばらき

**主催** アーカスプロジェクト実行委員会、茨城県南芸術の門創造会議

**助成** 平成28年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業、公益財団法人野村財団

**後援** エルサルバドル共和国大使館、マレーシア大使館、駐日韓国大使館・韓国文化院

**協賛** 関彰商事株式会社、鹿島埠頭株式会社、株式会社高橋合金、茨城県信用組合、株式会社常陽銀行、筑波都市整備株式会社、株式会社筑波銀行、守谷市金融団、学校法人開智学園開智望小学校、関東鉄道株式会社、守谷市商工会、株式会社つくば研究支援センター、茨城県信用保証協会、中央労働金庫、株式会社ジョイフル本田、株式会社茨城ポートオーソリティ、茨城みなみ農業協同組合、株式会社千葉銀行

**認定** 公益社団法人企業メセナ協議会

**協力** アサヒビール株式会社、アサヒビール株式会社茨城工場、株式会社レオパレス21、さくら坂VIVACE、ハンスホールベック、寿し屋の小平治、特定非営利活動法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]、茨城をたべよう運動推進協議会

**ネットワーク** ART ROUND EAST、ResArtis

### お問い合わせ先

◎アーカススタジオ 担当 | 朝重(ともしげ)・石井

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 (火-土 10:00-18:00) TEL | 0297-46-2600

E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

◎アーカスプロジェクト実行委員会事務局 担当 | 大藪

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 茨城県企画部地域計画課 TEL | 029-301-2735 Fax 029-301-2739